

「無事故を目指して」

2016/02/18
北海道トラック協会

1. キーワード

「**気づく**」・「**確認運転**」(2度視る)

◆一時停止は、二度止まりましょう◆

2. 何故、事故が起きるのか

●確認していないから

●認知していない

●**しっかり視ていない**

運転のメカニズム： **認知・判断・操作**

3. 目的・目標をしっかり持つ

●基本は、**運輸安全マネジメント** PDCAサイクル

4. 考え方:「管理者が変われば、乗務員も変わっていく」

●「**真**」に**変わる**ことが重要。

5. 事故はヒューマンエラー

●**うっかりミス**

●**意図的(わざと)**な不安全行動

6. 同じ立ち位置 (上から目線は逆効果)

●**みんなで決めて、みんなで実行**

●**気づく、連帯感** →乗務員の心に響く

●結果、「**信頼関係**」が生まれる

7. 目標達成のために「面談」を実施する

●カウンセリングを応用

●「面談」の姿勢は**怒らない、叱らない**

●**原因**など、**一緒に考える**「**なぜなぜ分析**」

●「面談」の方法は**傾聴・共感・肯定**(否定しない)

目標管理・・・(例)信号を守る、左右確認する。

九州大学教授『**一時停止は二度停止、車間距離は4秒間**』で、**7割の事故削減**出来る

重要なのは **どんな思いでハンドルを握っているのか、**

辛くはないのか、

事故惹起者(起こした人)には、**その時何を考えていたのか**

乗務員の心を聴く

どうすれば、良かったのか。

面談の中で、「**気づき**」を見つけていく

8. 運輸安全マネジメントを実施した会社

50%事故経費を削減している。

9. 管理者の言動

毎日、無事故で帰社した乗務員へ、乗務後点呼の時に、思いっきり「褒める」こと

『**気をつけて**』は、**自分のため?**

抽象的な表現よりも、**具体的で判りやすい表現**で説明する。

10. 事故防止策

①今日の**目標シール**

②**無事故の乗務員**に聴く

何に気をつけて運転しているのか、その内容を事故惹起者へ伝える

③**優良な乗務員**は、自分の運転について、今日の運転はどうであったか

「**振り返り**」をしている。

11. プロ意識

プロドライバーとしての意識をした運転

デイ・ライト、「安全意識の心」に、スイッチON!